

<取材のお願い>

2022年9月20日

仙台高等専門学校

JST さくらサイエンスプログラム推進本部

モンゴルの高専生が日本の最先端技術者教育を体験 ～高専発の即戦力人材を育成するパイロットモデル構築を目指して～

仙台高等専門学校では9月27日(火)～10月3日(月)、モンゴルの3高等専門学校(モンゴル科学技術大学付属高専、モンゴル工業技術大学付属高専、新モンゴル学園高専)から、学生15名、教員3名の計18名を招き、本校で実践している教育システムを体験し、日本の最先端の技術者教育をはじめ実務現場に直に触れるプログラムを行います。

モンゴル3高専は、いずれも2014年にモンゴルで初めて開校された日本型高等専門学校で、授業・実習等は日本から輸入された教材・設備を用いて行われています。また、日本語が必修科目のため、学生の日本語能力が高く、卒業後は多くの学生が日本企業に就職しています。今回招へいする学生たちは高専の4・5年生で、本校教員とのオンラインによる事前面接で選抜された優秀な学生です。

本プログラムの最終目的は、モンゴルの高専で学ぶ学生が卒業後に日本の高専の専攻科でさらに技術を習得し(学士取得)、地方の中小産業で就業研修(5年～10年)を行い、先端技術を身に着けた後に帰国。モンゴルの産業や技術教育を牽引する人材として成長するという、人材育成のためのパイロットモデルの構築を目指すことにあります。

一方、生産年齢人口の減少が顕著な日本においては、特に地方の「建設業」「製造業」での人材不足は深刻であり、高度な海外人材を活用していくことは急務ともいえます。本プログラムは、そのような地方における慢性的な人手不足を解消し、即戦力となる人材を育成するためのパイロットモデルにもなると考えます。

プログラムでは、本校の4コース(ロボティクス、マテリアル環境、機械・エネルギー、建築デザイン)の講義、演習に参加します。また、宮城県内にある企業(キョーユー株式会社、株式会社ジー・イー・エス、他)を訪問し、実務現場を体験します。

今回の交流プログラムは科学技術振興機構(JST)主催の「国際青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプログラム)」*に採択されたもので、2015年度、2019年度に続いて3回目の実施となります。

<参考>

2015 年度 活動レポート

https://ssp.jst.go.jp/report/2015/k_vol099.html



2019 年度 活動レポート

https://ssp.jst.go.jp/report/2019/k_vol027.html

https://ssp.jst.go.jp/report/2019/k_vol080.html



つきましてはご多忙中とは存じますが、モンゴルの高専生が体験プログラムで課題に取り組む様子、宮城県内の企業で実務現場を体験する様子などを取材して頂きたいをお願い申し上げます。なお、参加者へのインタビュー取材もアレンジが可能です。ご希望の方は担当者までご連絡ください。

【実施内容】

- 仙台高専の教育システム体験：講義・演習
- 実務視察：宮城県内の企業訪問

【研修日程予定概要】

- 9月27日(火) 午後：仙台駅到着
- 9月28日(水) 午前：開校式、オリエンテーション、実務視察ー共伸プラスチック株式会社
午後：大崎市役所訪問、実務視察ーキョーユー株式会社、明治合成株式会社
- 9月29日(木) 午前：ロボティクスコース体験プログラム_講義・演習
午後：機械・エネルギーコース体験プログラム_講義・演習
- 9月30日(金) 午前：マテリアル環境コース体験プログラム_講義・演習
午後：実務視察ー株式会社ジー・イー・エス
- 10月1日(土) 午前：建築デザインコース体験プログラム_講義・演習(フィールドワーク)
午後：最終報告会・意見交換会
- 10月2日(日) 午前：キャンパスツアー
午後：スリーエム仙台市科学館訪問
- 10月3日(月) 午前：成田空港へ移動
午後：帰国

* 「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」

科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費を JST が支援します。

<https://ssp.jst.go.jp/>



■本件事業に関するお問い合わせ先

仙台高等専門学校 名取キャンパス

企画室連携・国際交流係

電話： [REDACTED] FAX： [REDACTED]

Eメール： [REDACTED]

■国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室

電話： [REDACTED] Eメール： [REDACTED]（担当：田中(禎)、太田)